



あした 「GNN が創造する “未来”」 企画書

第 3 回 GNN 技術発表会（第 11 回 GNN 技術勉強会 in 東京）

GNN 技術発表会実行委員会

生コン業が未来を語る上で目を背けてはならないこと。品質保証、天然資源の枯渇、産業廃棄物の再利用、世代交代、新たな事業の創造、グローバル化。GNN は生コン工場の「困った」に力をあわせて取り組み、業界をよくするために活動をしてきました。3 年目は直視すべき問題を見つめなおし“あした”を創造するためのソリューションを議論します。

「これまでの 65 年、これからの 65 年」

GNN プレゼン

- どうなった？生コン工場の品質保証対策（生コン品質保証）
- 生コン工場の困った（戻りコン・スラッジ・ハツリ作業他）
- 「怖くない」現地プラントの適正な理解（新しい生コンの製造方法）
- ニューマテリアル・アップサイクル（新素材や産業廃棄物の再利用）
- 世界の国から生コンニチハ（世界の生コン技術）
- 将来に向けた生コン工場の経営（事業承継・人材採用育成・女性採用他）
- ゼネコンと GNN の共同プロジェクト（事例紹介）

基調講演

- ★ 「コンクリートへの思いと GNN に寄せる期待」

鹿島建設株式会社 土木管理本部 土木技術部 部長 坂田 昇氏

- ★ 「これからの働き方と日本の競争力」

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役会長兼 CEO 出口 治明氏

- ★ 「生コン業界への提言（仮）」

デザインディレクター・博士（医学） 川崎 和男氏

※イベント広場会場にて、上記関連技術に関するプレゼンやブース展示がございます。

内容につきましては、9 月中旬正式案内にて発表いたします。

（当日プレゼン者及びプレゼン内容が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。）



開催日 : 平成 26 年 11 月 15 日 (土) (生コンの日)

時 間 : 発表会 10:00 ~17:00 (開場受付開始 9:00)

当日、受付の混雑が予想されます。ご来場はお早目をお願い致します。
発表会終了後、同会場にて懇親会を予定しております。

場 所 : 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

アクセス : JR 田町駅, 都営地下鉄三田駅 徒歩 3 分

主 催 : GNN (元気な生ネットワーク)

会 費 : 7,000 円/名 テキスト代として (懇親会費込み)
学生無料 (懇親会代別途 4,000 円)

定員 350 名 参加申込み締切 10 月 31 日 (金)

満席となり次第締め切りとさせていただきますので、
参加申込みはお早目をお願いします。



後 援 : 日本コンクリート工学会関東支部 / 日本建築学会関東支部 (予定)

土木学会関東支部 / 全国生コン青年部協議会

日本砕石協会関東地方本部 一岩会 / 再生骨材コンクリート普及連絡協議会

平生会 / セメント新聞社 / セメントジャーナル社 他

元気な生ネットワークでは、第 3 回 GNN 技術発表会をサポートして頂けるスポンサー企業様を募集しております。スポンサー企業様には、ブース展示や技術発表会プレゼン資料への社名ロゴマーク掲載など各種媒体への掲載をさせていただきます。

ゴールドスポンサー : 50,000 円 … 10 社 ブース出展 & 社名ロゴマーク掲載

シルバースポンサー : 10,000 円 … 限定なし 社名ロゴマーク掲載

サポートして頂ける企業様は、GNN 事務局又はお近くの GNN 会員までご連絡下さい。

皆様のご支援をお待ちしております。

以上

あした
「GNN が創造する “未来”」

第3回 GNN 技術発表会（第11回 GNN 技術勉強会 in 東京）参加申込書

GNN 技術発表会実行委員会

生コン業が未来を語る上で目を背けてはならないこと。品質保証、天然資源の枯渇、産業廃棄物の再利用、世代交代、新たな事業の創造、グローバルゼーション。GNN は生コン工場の「困った」に力をあわせて取り組み、業界をよくするために活動してきました。3年目は直視すべき問題を見つめなおし“あした”を創造するためのソリューションを議論します。

開催日 : 平成 26 年 11 月 15 日 (土)

時 間 : 発表会 10:00 ~17:00 (開場受付開始 9:00)

当日受付の混雑が予想されます。ご来場はお早目をお願い致します。

発表会終了後、同会場にて懇親会を予定しております。

場 所 : 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

主 催 : GNN (元気な生コンネットワーク)

会 費 : 7,000 円/名 テキスト代として (懇親会代込み)

学生無料 (懇親会代別途 4,000 円)

定員 350 名 **参加申込み締切 10 月 31 日 (金)**

満席となり次第締め切りとさせていただきますので、参加申込みはお早目
お願いします。

貴社名: _____

ご住所: _____

お名前: _____

ご連絡先: _____

ご紹介者: _____

GNN 事務局 〒410-2211 静岡県伊豆の国市長岡 781
有限会社長岡生コンクリート内 担当 池上 (いけがみ)

Tel: [055-947-0049](tel:055-947-0049) fax: [055-947-0052](tel:055-947-0052) nagaoka-rmc@yr.tnc.ne.jp

基調講演・講師プロフィール

ふりがな 氏名 生年月日	さかた のぼる 坂田 昇 昭和36年1月26日	現住所	新潟県長岡市川崎町 762-5	
学歴	長岡技術科学大学工学部建設工学課程 1983年 3月 卒業			
	長岡技術科学大学工学研究科建設工学専攻 1985年 3月修了			
学位	博士(工学) (長岡技術科学大学) 1997年 3月			
	博士(農学) (鳥取大学) 2014年 3月			
現職	鹿島建設(株) 土木管理本部 土木技術部長			
年月日	職歴			
1985.4.1	鹿島建設(株) 入社 同技術研究所土木部 研究員			
1991.4.1	東京大学工学部土木工学科コンクリート研究室受託研究員兼務			
1994.4.1	鹿島建設(株) 北陸支店 奥三面ダム工事(事) 工事課長代理			
1997.4.1	鹿島建設(株) 北陸支店 奥三面ダム工事(事) 工事課長			
1998.1.1	鹿島建設(株) 技術研究所 第二研究部 主任研究員			
1998.4.1	長岡技術科学大学 非常勤講師兼務(～2014.3.31まで)			
2000.4.1	鹿島建設(株) 技術研究所 土木技術研究部 主管研究員			
2001.4.1	鹿島建設(株) 技術研究所 土木技術研究部 材料LCEグループ長			
2009.4.1	鹿島建設(株) 技術研究所 土木材料グループ長			
2013.4.1	鹿島建設(株) 土木管理本部 土木技術部長 現在に至る			
主な資格	技術士(建設部門), コンクリート主任技士, コンクリート診断士 他			
学会会員	土木学会(フェロー会員), 農業農村工学会, コンクリート工学会, ダム工学会, 日本材料学会 他			
主な委員会歴	土木学会示方書小委員会施工編部会 副主査, 土木学会高流動コンクリート指針作成小委員会 幹事長, 土木学会コンクリート施工性能評価小委員会 幹事長 JCI コンクリート講習会委員会 幹事長 他			

基調講演・講師プロフィール

ライフネット生命保険株式会社
代表取締役会長兼 CEO
出口 治明（でぐち はるあき）



1948年三重県生まれ。京都大学を卒業後、1972年に日本生命保険相互会社に入社。企画部や財務企画部にて経営企画を担当するとともに、生命保険協会の初代財務企画専門委員長として、金融制度改革・保険業法の改正に従事する。ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを経て、同社を退職。2006年に生命保険準備会社を設立し、代表取締役社長に就任。2008年の生命保険業免許取得に伴い、ライフネット生命保険株式会社を開業。2013年6月より現職。

主な著書に、「生命保険入門 新版」（岩波書店）、「直球勝負の会社」（ダイヤモンド社）、「仕事に効く 教養としての『世界史』」（祥伝社）、「ビジネスに効く最強の『読書』」（日経 BP社）、「部下をもったら必ず読む『任せ方』の教科書」（角川書店）、「『思考軸』をつくれ」（英治出版）、「百年たっても後悔しない仕事のやり方」（ダイヤモンド社）など。

生年月日：1948年4月18日（66歳）
出身：三重県 美杉村（現・津市）
学歴：京都大学法学部（専攻：憲法）1972年卒

ブログ http://www.lifenet-seimei.co.jp/deguchi_watch/
<http://blog.livedoor.jp/deguchiharuaki/>
<http://blogs.bizmakoto.jp/deguchiharuaki/>
Facebook <https://www.facebook.com/deguchiharuaki/>
Twitter [@p_hal](#)

基調講演・講師プロフィール

川崎 和男 Kazuo Kawasaki
デザインディレクター・博士（医学）

大阪大学・名誉教授
名古屋市立大学・名誉教授

多摩美術大学・客員教授
金沢工業大学・客員教授



大阪大学大学院・工学研究科にて「危機解決産業創成デザイン重要拠点」として、
「危機解決工学プロダクトデザイン寄附講座」特任教授・プロジェクトリーダーを務めている。

1949年福井市生まれ、魚座・B型・左右利き
インダストリアルデザイン・プロダクトデザインから、デザインディレクターとして、
伝統工芸品、メガネ、コンピューター、ロボット、原子力、人工臓器、宇宙空間まで
デザイン対象として、
トポロジーを空間論に持ち込んだ「ことばと人たちの相対論」をデザイン実務としている。

グッドデザイン賞審査委員長など行政機関での委員を歴任。国内外での受賞歴多数。
また、ニューヨーク近代美術館など海外の主要美術館に永久収蔵、永久展示多数。

『Newsweek日本版』の「世界が尊敬する日本人100人」に2度選ばれる。

現在デザインによる世界平和構築をめざして

「Peace-Keeping Design (PKD)」というプロジェクトを提唱。

「毎日デザイン賞」調査委員

「シップ・オブ・ザ・イヤー」選考委員会委員

「日本文具大賞」審査委員長

「DESIGN TOKYO - 東京デザイン製品展 -」審査委員長

「危機管理デザイン賞」総合審査委員長

1996年から名古屋市立大学から2006年に大阪大学大学院に移籍し、
2013年には名古屋市立大・大阪大学の国公立2つの大学の名誉教授。